

研究課題：新生児期における人工肛門造設に関する検討

1. 研究の目的

新生児期に人工肛門造設を行うと、腸管が未熟なこともありさまざまな合併症をきたすことがあります。今回、合併症を減らすために今までの経験をまとめることにしました。

2. 研究の方法

2012年1月から2025年7月までに新生児期に人工肛門造設をおこなった患者様が対象となります。

診療録から、手術時間、麻酔時間、出血量、出生時週数、体重、手術時日齢、手術理由、手術時体重、吻合に使用した糸の種類、人工肛門閉鎖の時期、人工肛門関連合併症、周術期合併症、採血データ、超音波、レントゲン、CTなどの情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2027年3月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

手術と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：小児外科 科長 川嶋寛

研究分担者：小児外科 医員 海老原統基

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲

内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026 年 3
月（※倫理委員会承認月から 3～6 ヶ月後にしてください）までに下記の連絡先
へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）